【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【公表番号】特表2009-541513(P2009-541513A)
【公表日】平成21年11月26日(2009.11.26)
【年通号数】公開・登録公報2009-047
【出願番号】特願2009-515872(P2009-515872)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｄ 175/04　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ　5/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ　7/12　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　3/06　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　7/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｄ 175/04
Ｃ０９Ｄ　5/00　Ｚ
Ｃ０９Ｄ　7/12
Ｂ０５Ｄ　3/06　Ｚ
Ｂ０５Ｄ　7/24　３０２Ｔ

【手続補正書】
【提出日】平成22年6月18日(2010.6.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも２個のイソシアネート基を有する化合物、少なくとも２個のヒドロキシル基を有する化合物、増感剤、及び、イソシアネート－ヒドロキシル付加反応用の光潜在性触媒を含み、光潜在性触媒が、触媒活性金属を含む有機金属化合物であり、有機金属化合物中の触媒活性金属原子が、他の金属原子に対する結合を有さない、化学線硬化性コーティング組成物。
【請求項２】
触媒活性金属が、スズ、ビスマス、鉄及びジルコニウムから選択される、請求項１記載の化学線硬化性コーティング組成物。
【請求項３】
光潜在性触媒が、光分解的に開裂可能な結合を介して金属に結合している少なくとも１個の有機基を有する、請求項１記載の化学線硬化性コーティング組成物。
【請求項４】
光分解的に開裂可能な結合を介して金属に結合している少なくとも１個の有機基が、アリール基である、請求項３記載の化学線硬化性コーティング組成物。
【請求項５】
クリアコート組成物である、前記請求項のいずれか一項記載の化学線硬化性コーティング組成物。
【請求項６】
（ａ）少なくとも２個のイソシアネート基を有する化合物、少なくとも２個のヒドロキシル基を有する化合物、及び、イソシアネート－ヒドロキシル付加反応用の光潜在性触媒を

含み、光潜在性触媒が、触媒活性金属を含む有機金属化合物であり、有機金属化合物中の触媒活性金属原子が、他の金属原子に対する結合を有さない、化学線硬化性コーティング組成物を、基板に塗布する工程、及び
（ｂ）塗布されたコーティング組成物に化学線を照射して光潜在性触媒を活性化する工程を含む、基板上にコーティングを形成する方法。
【請求項７】
化学線硬化性コーティング組成物が増感剤をさらに含む、請求項６記載の方法。
【請求項８】
塗布されたコーティング組成物にＵＶ－Ａ線を照射する、請求項６記載の方法。
【請求項９】
自動車及び輸送車両の仕上塗装及び塗り替えのために実施される、前記請求項６記載の方法。
【請求項１０】
ａ）少なくとも２個のイソシアナート基を有する化合物を含むモジュールＡ）、及び
ｂ）少なくとも２個のヒドロキシル基を有する化合物を含むモジュールＢ）を含み、
モジュールＡ）及びＢ）のうち少なくとも１つ、又は追加のモジュールＣ）において、増感剤、及び、イソシアネート－ヒドロキシル付加反応用の光潜在性触媒が存在し、光潜在性触媒が、触媒活性金属を含む有機金属化合物であり、有機金属化合物中の触媒活性金属原子が、他の金属原子に対する結合を有さない、
化学線硬化性コーティング組成物の調製用の部品のキット。